

二中学区地域の輪をつくる会

3つの誓い

- ・ふれあいの輪を
広げましょう。
- ・あいさつを
かわしましょう。
- ・明るい家庭生活を
築きましょう。

vol.100

ふくわ

●発行 二中学区地域の輪をつくる会 ●編集 広報委員会 ●事務局 市毛コミュニティセンター内・ひたちなか市市毛980・TEL.029(272)3766 ●印刷 弘美印刷(株)



三行事の1つである第38回「コミュニティまつり」を11月11日(土)・12日(日)市毛コミュニティセンターで開催しました。新型コロナが5類に移行され、今年は以前のように盛大に開催することができました。屋外の模擬店や和太鼓演奏も実施でき、賑やかな祭りとなりました。

来場者の皆さんは、芸術作品など鑑賞もして頂き好評を得ました。地域の行事は、地域の絆で交流が図れました。



ご芳志ありがとうございます
ございました

- (有)三浦屋 様
- NEXTカワシマ 様
- 船勢鮨 様
- 新井接骨院 様
- 常陸農業協同組合 勝田支店 様
- 佐野の和を推進する会 会長 西野 滋夫 様
- 市毛鹿島神社 様
- ひたちなか市教育長 様
- ひたちなか市長 様

二中学区
コミュニティまつり
ご芳志一覧
順不同

実践部会活動報告

下期前半の行事を終えて

文化部会

11月11日(土)～12日(日)に行われた第38回コミセンまつりでは、悪天候の中延べ1800名の来場者にはありがたく感謝しあげます。4年ぶりに通常開催となり、和太鼓の響きも復活できました。

来年は天候にも恵まれ賑やかにすることを祈りたいと思っております。

11月19日(日)には研修会として笠間の日動美術館を訪れ、藤田嗣治企画展を鑑賞しました。続いて北大路魯山人旧宅・春風萬里荘を見学し、TVのCMで流れた石庭が、ここかと気付きました。丁度菊花展が開催されていた笠間稲荷周辺を散策して研修会は終了しました。



春風萬里荘前にて

体育部会理事研修会を実施

体育部会

11月25日(土)「しおかぜみなと」でニュースポーツの研修会を実施しました。

「しおかぜみなと」は旧那珂湊二高の跡地を活用したスポーツ・文化施設で、当日は殿

山駅までひたちなか海浜鉄道で移動し、施設見学の後、体育館でモルックと簡単ボッチャの実習をしました。

また昼食は阿字ヶ浦で海鮮料理を食べ、市内観光も体験できる良い研修会となりました。



ニュースポーツの実習

コミュニティまつりを終えて

安全福祉部会

各小学校の交通安全母の会と各自治会委員等28名が参加され、みそおでん販売と交通安全クイズを行いました。

みそおでんは、子どもたちも加わり早めに完売しました。交通安全クイズの参加者には、グッズを差しあげました。



朝の準備・確認

早戸川清掃活動を実施

環境部会

12月17日(日)9時から、枝川転作推進センター駐車場に集合し参加者12名で行いました。当日、オレンジの帽子とジャケツトに手袋、長靴で、ゴミ拾いのトングを持参で参加しました。

早戸川の氾濫対策のため、コンクリートの堤防が設置されており、乗り越えてのゴミ拾いは危険なので、手の届く範囲で行いました。

約1時間のゴミ拾いで集まった量は燃えるゴミ3袋、燃えないゴミ2袋(写真)の結果となりました。参加された委員の皆さん、大変ご苦勞様でした。



清掃活動に参加した皆さん

第38回コミュニティまつり

青少年部会

11月12日(日)久々の完全実施となったコミュニティまつりが開催され、クレープや焼き芋、ジュース、わたあめの販売コーナーと昔遊びやバルーンアート、折り紙、スーパースーツの遊びコーナーで参加しました。

部会委員間の親睦も図ることができ、来場した地域の方々の交流を通じて、楽しい一日を過ごしました。

各PTAをはじめ、ご協力いただいた56名の皆様ありがとうございました。



屋外ブース、好評でした

津田小「昔あそび」に参加

ワイワイふれあい館

2月2日(金)9時よりワイワイふれあい館の有志13名で1・2年生の生活科学習として実施の「昔あそび」に参加しました。

これまでコロナ禍により中止されていましたが4年ぶりの開催となりました。少子高齢化・核家族化の進む中で我々高齢者世代が子供時代の遊びを通じ、少なくなつた孫世代の小学生との触れ合いの場となり、忘れかけた「昔あそび」を思い出しながら久しぶりに童心に戻って、楽しいひとときを過ごさせていただきました。



小学生へ昔あそびを体験させました

サンタがやってきた。

クリスマス会開催

子どもふれあい館

12月9日(土)子どもふれあい館にて「子どもふれあい館20周年記念式典・クリスマス会」を盛大に開催することができました。

2人のサンタクロースからのプレゼントを皮切りに、催事では「イベント・遊びのコーナー」を館内や屋外に設け、子どもさんたちに満足のいくよう沢山遊んでもらうことができました。また、屋外には「食事コーナー・休み処」として、自由飲食の場を設けました。

訪れた子どもたちは、サンタさんからいただいたプレゼントやイベントの参加景品をたくさん手にし、焼きそば・白玉おしるこを頬張り、館内は多くの笑顔で埋め尽くされました。



子どもふれあい館20周年記念式典



モニターに合わせて太鼓たたき

年末防犯強化運動の実施

年末防犯強化運動として12月17日(日)勝田二中地区自警団による青色回転灯装備車の出発式が、市毛コミュニティセンターにて行われました。各自治会自警団班長と青色パトロール従事者および市役所・警察署からのご来賓が参加された出発式の後、地域の安全・安心のため青色回転灯装備車による一斉パトロールが実施されました。

◇青色回転灯装備車による自主防犯パトロール従事者12名

- 佐藤 新平 (津田第一)
- 間部 毅 (津田第一)
- 堆 和江 (津田第二)
- 吉村 利夫 (津田第三)
- 南条 進 (津田東)
- 海老澤 寛 (津田西山)
- 磯崎 正見 (市毛北)
- 小松 一美 (市毛南)
- 金澤 知則 (市毛南)
- 佐藤 大 (堀口)
- 外山 直子 (武田)
- 藤田 正昭 (勝田本町)



出発前の訓示

地域トピックス

勝田マラソンボランティア

堀口自治会

「堀口青年会勝田マラソンを支える会」として、40年以上ボランティア活動を続けてきました。活動内容は、甘酒の提供で、時間内はほとんど列が途切れることはありません。

「有難うございませう」とか、感謝の言葉を頂くと、こちらにも幸せな気持ちになります。今後も、できる限り続けていきたいと思えます。



太田一高生も協力

「新春懇談会」を開催

枝川自治会

1月14日(日)「新春懇談会」を四年ぶりに実施しました。初めに「いきいき健康体操」の指導者・山縣先生のもと、まず体ほぐしの運動を行い、次に脳の活性化を図れるという指の運動をそれぞれ行いました。40分ほどでしたが、お正月でなまっただ体や脳に良い刺激になりました。運動の後は昼食をとりながら参加者の皆さんで懇親を図りました。行事を通して「自治会の輪」の醸成が図れたと思えます。



健康体操に取り組んでいる参加者

恒例の輪投げ大会を実施

勝田本町自治会

12月2日(土)自治会館において、毎年恒例の輪投げ大会を実施しました。幼児から80才を超える方々の総勢40名の7区分で合計得点を競いました。優勝賞品の高級新米5kgを目指して、全員がより高得点のポールを狙いました。

輪投げは、年齢・性別を問わずに楽しめる競技で、地域における親睦の機会として、今後も開催していきます。



来年も優勝めざしてガンバルぞ!!

三世交代「グラウンドゴルフの集い」を開催

津田第一自治会

10月14日(土)自治会と長寿会の協賛で「グラウンドゴルフの集い」を行いました。三年ぶりに小学生から高齢者を含め40名が参加し激戦を繰り広げました。今年は特にホールインワンを達成した方が5人も出て、大盛り上がりでした。グラウンドゴルフは、三世代で楽しめる最適なゲームだと思います。



慎重に! ナイスショット!

福祉バス移動研修会

武田自治会

11月30日(木)参加者25名で県自然博物館および道の駅常総を行先として、福祉バス移動研修会を実施しました。

県自然博物館は、宇宙から地球環境の関わりを考えさせられる展示があり、人間と地球環境の関わりを考えたことが残念でした。4月オプンの道の駅常総は名物のメロンパンを始め、地元のお食が勢揃いでした。



県自然博物館を視察

ふれあいの集い開催

市毛北自治会

12月17日(日)市毛会館にて一人暮らし高齢者・小地域ネットワーク利用者ふれあいの集いを開催しました。

参加者は28名で、来賓の社会福祉協議会地域福祉課ならびに市毛交番所長からお話を伺った後、実行委員が早朝から準備したお餅などを食し、歓談しました。最後にビンゴゲームで全員賞品を頂き、笑顔で帰宅しました。



お話を伺う参加者

安全安心な地域づくりの環として

市毛南自治会

去る1月27日(土)志田市毛交番所長を講師としてお招きし、恒例である立哨者及び防犯連絡員による合同会議を実施しました。

当日は、子どもの下校時の「見守り活動」の立哨者と地域の安全は自分たちで守る」という自主防犯連絡員の約20名が参加しました。所長講話からは、立哨者は「車に背を向けない」こと、高齢者の「留守電」や「補助鍵」は詐欺・窃盗の対策として有効であること。また市毛管内の小中学生の交通事故死亡事故はゼロなど、安全に則した身近な話を伺うことが出来ました。



立哨・防犯連絡会議状況

第二回津田東秋まつり

津田東自治会

10月14日(土)天候にも恵まれ津田第三公園にて昨年度に引き続き秋まつりが盛大に開催されました。まつりの開催時刻前に、多数の小学生が訪れるなど、楽しみにしていた様子が伺えました。

この秋まつりは本自治会の大きな事業であり、自治会が目指す地域のコミュニティの活力溢れる姿の一つです。今後も、地域の絆を繋げる事業として継続してまいります。



賑わう会場!

4年ぶりのコンサート

津田第三自治会

1月22日(月)「ふるさと小町」のニューイヤークンサートを津田集会所で開催。ひたひたなか市出身の音楽家山本彩子さんとチェロ奏者の森谷佳奈さんを招き、山本さんの歌と森谷さんのチェロ演奏を堪能した後、山本さんの歌唱指導により、参加者100名で合唱するという、楽しい午後のひと時を過ごしました。



さあ!一緒に

光り輝くイルミネーション

津田西山自治会

12月中旬、西山公園花壇に恒例のイルミネーションを設置いたしました。

コロナ禍での厳しい生活環境が続く中、地域住民の皆様にも少しでも笑顔をお届けできればと、始めた行事も今年で四年を迎えました。今では、すっかり冬の風物詩となり、地域住民に笑顔をお届けしています。



光輝くイルミネーション

47回「ミセンまつり」

津田「ミセン」を明るくする会

12月3日(日)コロナ感染の落ち着きを受け、津田「ミセン」まつりを開催しました。津田小学校の子どもたちによる伝統文化クラブの演奏をかわきりに、たくさんの子どもたちや久し振りに顔を合わす人たちの賑やかな声や笑顔が館内外に溢れました。

館内に展示された出展者の力作からは、日頃の努力をかいまみることができ、館庭では五自治会や各団体の模擬店が、子どもたちの大喜びするイベントを企画する等、まつりを盛り上げました。



素晴らしい芸能発表会を実施



報 告 委 員 会

枝川小創立150周年 記念行事を開催

枝川自治会

枝川小学校が創立150周年を迎えました。同校は1873(明治6)年に枝川尋常小学校として創立。その長い歴史を振り返ると、昔は二学区唯一の小学校で、地区全体から通っていたということから卒業生は約4千名を超え、県内外において社会の繁栄に貢献されておりです。

また、地域の方々の学校に対する熱い思いで歴史はしっかりと繋がれ、今日を迎えることができました。その歴史の深さは計り知れません。

改めて小学校の発展の礎を

本誌は「輪をつくる会」が結成された翌年、昭和62年1月に創刊されました。それから37年になる今年、100号を迎えました。

その間、枝川地区の洪水やコロナ禍などの影響などにより、紙面内容の変更や発行停止もありましたが、なんとか長期に亘り発刊することができました。

ここまでやって来られたことは、協力頂きました自治会長をはじめ、本会役員・広報委員・関係機関の皆様のご協力の賜物であり、敬意と感謝を申し上げます。

「ふくわ」は当初はB5版で年2回の発行でした。平成8年からA4版で年3回、平成13年から現在のタブロイド版となりました。

当時の紙面は、現在も継続実施している「秋季運動会」・「市毛コミセンまつり」

「ふくわ」の名称は二つの「ふ」と当時の自治会九区の「く」、輪をつくる会の「わ」が募集の中から選ばれました。本誌の発行活動についても「輪」の心を持って、自治会組織の向上や地域の情報誌として役立つよう、継続して努力して行きたいと思えます。

なお「ふくわ」のバックナンバーは一号から揃っていますので、ご覧になりたい方は市毛コミセンまでお越し下さい。

築き上げられた、先人の足跡を回顧し感謝しています。

この150周年という歴史的な節目に、記念行事を企画しました。記念行事のため、学校と自治会・保護者が実行委員会をつくり協議の上、協賛金の徴収や記念誌の編集・刊行等に取り組みました。

「記念式典」は11月3日(金)に小学校体育館で開催しました。第一部は記念式典、第二部は元教員による講演、第三部は市民吹奏楽団とコラボした音楽発表会を行いました。

多くの来賓や地域・保護者の方々をお招きして、盛大に執り行うことができました。

小規模校ではありますが、昔から特長を生かし音楽活動を



記念となる音楽発表会も行いました

続けております。

地域コミュニティの拠点である小学校を、地域が一体となり支援して参ります。

新たなテーマで市民会議 : 地域学校協働活動 : 一学区地域の輪をつくる会

当学区では「地域福祉の充実と実践」をテーマに、市民会議を開催し、一定の成果を得てきました。

少子高齢化、人間関係の希薄化など、地域コミュニティが大きく変わってきています。変化が激しい社会の中で、子どもや学校が抱える課題解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、地域総がかりの教育の実現が必要です。当学区でも「地域学校協働活動」を新たなテーマとして取り組んでいくことになりました。

1月に学区内の小中学校運営委員と市教育委員会職員で、今後の進め方について協議し、学校と地域の共通理解が必要であり、各学校教職員および学校運営員、本会理事、市教育委員会、市民会議委員などで、3月7日(木)に「地域学校協働活動の一体的推進に向けて」と題し、栃木市民協働研究会の廣瀬隆人氏を招いて、勉強会を開催しました。



学校を核とした地域づくりなどの研修会の様子

津田コミセン 開館50周年記念式典

記念式典実行委員会

令和5年10月28日(土)津田コミセン開館50周年を迎え、多くの来賓を招いて式典が挙行されました。また、利用団体の発表もあり盛大に執り行われました。津田コミセンは当初、津田公民館として昭和24年に建築「津田第一自主防災倉庫(旧「火の見」から北西への所)」され、昭和48年に現在の地に移転し、平成26年に名称が津田コミユニティセンター(通称コミセン)となりました。

津田コミセンは利用する団体が大変多く、地域に愛される施設として今後も発展して欲しいと願っています。



記念式典への参加者の皆さん



自治会自慢 「たくさん掘れました」 市毛北自治会

市毛北自治会では、子どもたちにも食べている食材がどのように収穫されているかを知ったり、一家団らんの一時を過ごせるように、自治会員の畑をご厚意で開放して頂き、自治会・子ども会が一体となった「イモ掘り体験」を実施しました。

そして、たくさんのおイモを持ち帰って頂きました。地域の絆も深まった一日でした。



皆さん必死に掘っています

お知らせコーナー

令和6年度 一学区地域の輪をつくる会 定期総会のご案内

日時 4月13日(土)午後1時30分

場所 市毛コミュニティセンター

編集後記

コロナ感染症が五類に引き下げられ、以前の生活に戻り緒行事も、企画どおり開催することが出来ております。

「ふくわ100号」は、従来と同じ様な編集が出来ました。

また、今回は記念となる広報紙で、特別な報告ができないか内容を検討し「ふくわの集い」が密集を避けて会場を文化会館とし3月23日(土)に実施しました。そのため開催記録の掲載が間に合わないことから、空きスペースに記念報告をさせて頂きました。